



オイルクーラーキット 取扱説明書

商品番号：07 07 0026 (3段/コンパクトクール)

適応車種及びフレーム番号

K L X 1 2 5 : L X 1 2 5 C A 0 0 0 0 1 ~

D T R A C K E R 1 2 5 : L X 1 2 5 D A 0 0 0 0 1 ~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特徴～

- ・専用アダプターとオイルフィルターを用いる事で、オイルクーラーの装着が可能となり、また、オーバークールを防止するサーモユニット（別売）も取り付け可能となります。
- ・オイル取り出しアダプターには、別売りのM5サーモセンサーの取り付けが出来るので、エンジン温度管理が出来るようになります。
- ・シュラウド内側（乗車位置左側）にコンパクトクールオイルクーラーを設置。
ステーはステンレスを採用。オイルクーラーホースはラバーホースを採用。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
当製品は、記載の適応表に合致する車種、フレーム番号の車両です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
アルマイト製品は経年変化等により、色褪せる事があります。予めご了承下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- ・走行前には必ずエンジンオイルが循環している事を確認してから走行して下さい。(エンジン損傷の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

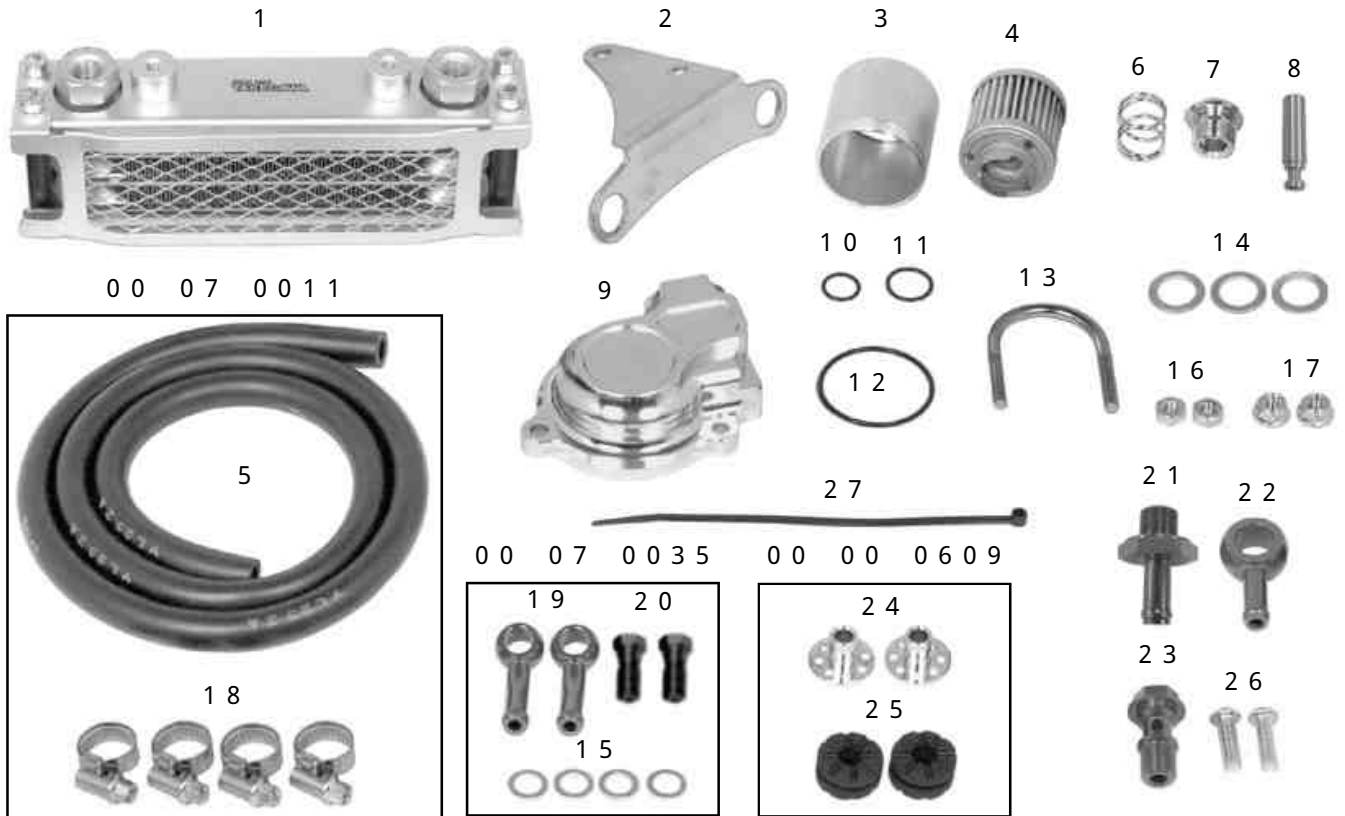
性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~商品内容~

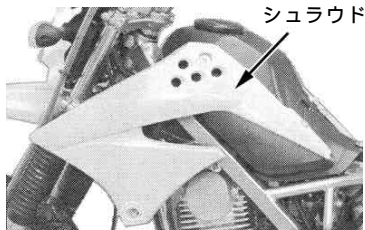


番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	オイルクーラー COMP.(3段)	1	00 07 0055	1
2	オイルクーラーステー	1	15660 LXD T00	1
3	パーティションCOMP.	1	12340 LXD T00	1
4	オイルフィルターエレメント	1	00-02-0027	1
5	オイルホース 1000mm	1	00 07 0018	1
6	オイルフィルタースプリング	1	00-07-0065	1
7	サーモスタットホールキャップ	1	00-07-0063	1
8	オイルホールプラグ	1	00-02-0391	1
9	オイルフィルターアダプター	1	12331 LXD T00	1
10	Oリング 12mm	1	00-00-0136	1
11	Oリング 15mm	1	00-00-0185	5
12	Oリング 40mm	1	00-00-0094	2
13	Uボルト	1	00 00 0416	1
14	アルミシーリングワッシャ 14mm	3	00 07 0042	5
15	アルミシーリングワッシャ 10mm	4	00 07 0010	10
16	六角ナット 6mm	2	00 00 0004	5
17	フランジUナット 6mm	2	00 00 0091	6
18	ホースクランプ	4	00 00 0052	2
19	バンジョー M10(30°)	2	15661 KTK T00	1
20	バンジョーボルト M10(ショート)	2	00 07 0038	1
21	アダプター(ストレート)	1	00 07 0036	1
22	オイルクーラーバンジョー 14mm	1	15620 000 T20	1
23	オイルクーラーバンジョーボルト M12	1	00 07 0034	1
24	カラー	2	00 00 0476	1
25	クッションラバー	2	00 00 0099	4
26	ボタンヘッドソケットスクリュー 6×20	2	00 00 0084	5
27	インシュロックタイ 150mm	1	00 00 0135	10

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
 予めご了承下さい。
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

～取 り 付 け 要 領～

1. シートと車両乗車位置左側のシュラウドを取り外します。

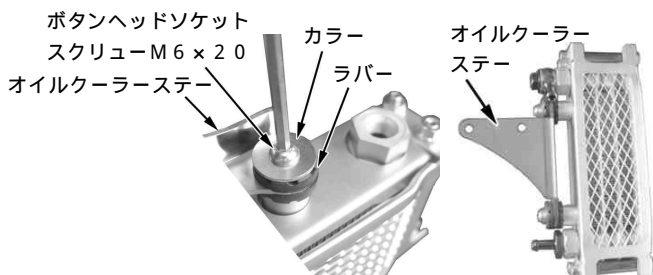


2. オイルクーラーステーにラバーを取り付け、取り付けたラバーにカラーを装着します。
3. オイルクーラーに先ほど組み付けたステーにボタンヘッドソケットスクリュー6 X 2 0を使用して取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)

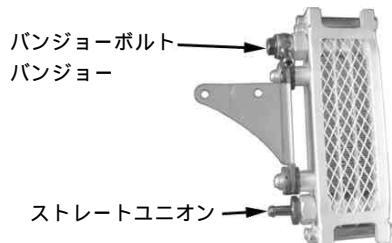
写真と同じ方向に取り付けて下さい。



4. オイルクーラーにバンジョーボルト、バンジョー、ストレートユニオンを写真と同じ様に組み付けます。ストレートユニオンは締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

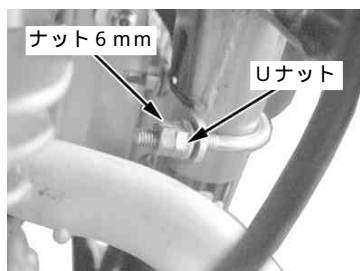
トルク：23 N・m (2.3 kgf・m)



5. 組み付けたオイルクーラーをキット付属のUボルトを使用し、フレームに組み付け、Uナット6 mmを使用し締め付けます。Uナットを締め込み過ぎるとステーが曲がります。オイルクーラーを強くさわっても動かない程度に締め付けて下さい。ステーは写真の位置（エキゾーストパイプより上側）に取り付けます。ボルト締め付けの際、エキゾーストパイプが邪魔とを感じる場合、1度取り外して取り付けして下さい。Uナットを締め付けた後、キット付属のナット6 mmを使用し締め付けて下さい。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

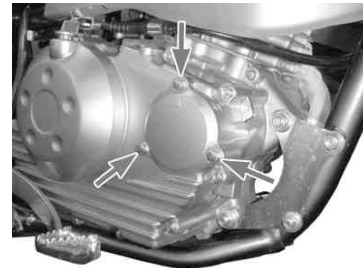
ナット6 mmトルク：7 N・m (0.7 kgf・m)



オイルフィルターアダプターの取り付け

1. エンジン右側のオイルフィルターカバーを固定しているスクリュー3本を取り外し、オイルフィルターカバー・オイルエレメント・スプリングを取り外します。取り外したスクリュー3本は、後程再使用しますので、紛失しないように保管・管理しておきます。

△注意：オイルフィルターカバー部を開けると、エンジンオイルが流れ出てきますので、オイル受け皿やウエス類を予め用意するなどの準備を整えた上で、作業を開始して下さい。

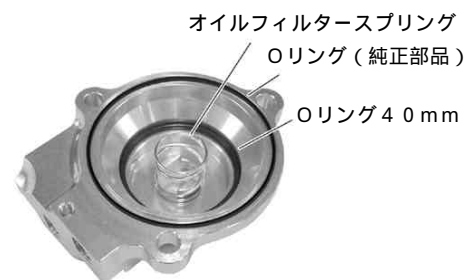


2. クラッチカバーのオイルエレメント部を清掃し、キット付属のOリング12 mmを、クラッチカバー中央部（オイルエレメント取り付け部）の突起外周部分に取り付けます。



3. 純正オイルフィルターカバーに取り付けられているOリングと、キット付属のOリング40 mm及びオイルフィルタースプリングを、予めオイルフィルターアダプターに取り付けます。また、純正のOリング部分にはグリスを薄く塗布して下さい。

△注意：Oリングを再使用する場合、損傷等の問題が無いが確認し、問題があれば新品を使用して下さい。



4. クランクケースにパーティションCOMP と、キット付属のオイルフィルターエレメントを取り付け、先程準備したオイルフィルターアダプターを取り付けます。



5. 純正のオイルフィルターカバーを固定していたスクリューを用いて、オイルフィルターアダプターを規定トルクで取り付けします。

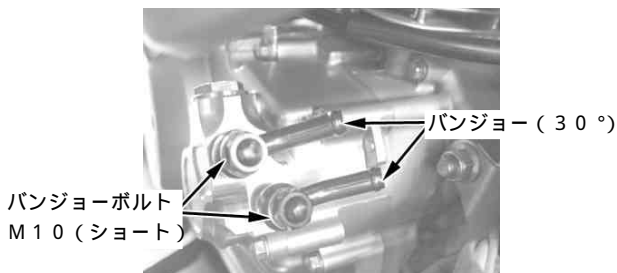
△注意：必ず規定トルクを守る事。
 トルク：8.8 N・m (0.9 kgf・m)

6. オイルホールプラグの段付きで細くなっている側から、オイルフィルターアダプターのサーモスタットホール部に差し込み、Oリング15mmをサーモスタットホールキャップに取り付けて少量のエンジンオイルを塗布し、Oリングの噛み込みに注意しながら、オイルフィルターアダプターに取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 トルク：15 N・m (1.5 kgf・m)

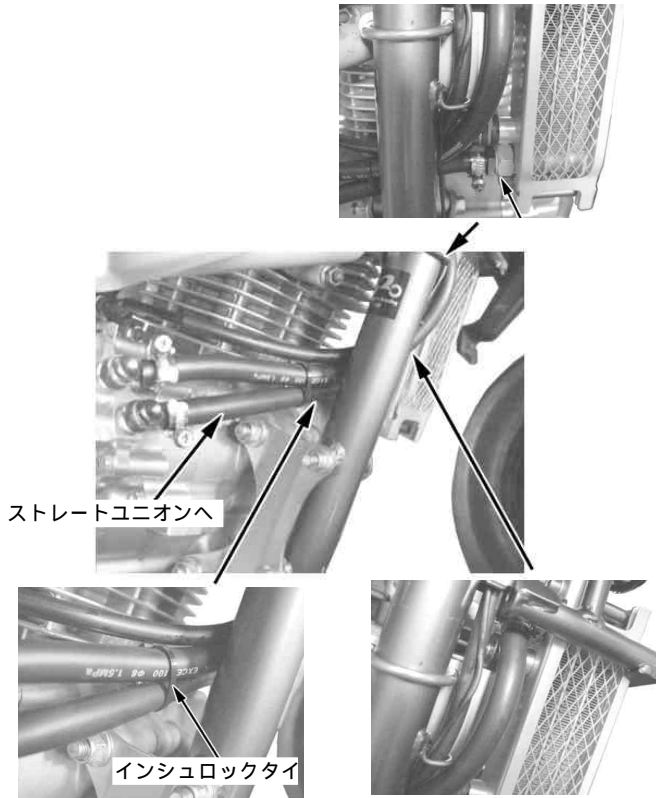


7. オイルフィルターアダプターにシーリングワッシャ10mm、バンジョー(30°)シーリングワッシャ10mm、バンジョーボルトM10(ショート)の順に組み付けます。



8. 写真を参考にオイルホースを適切な長さにカットし、フレームとエンジン間に通し取り付けます。
 ホースを取り回す際、エキゾーストパイプには干渉しない様取り直しを行って下さい。
 取り回しが完了すればそれぞれのバンジョーボルトを締め付けます。オイルフィルターアダプターの下線のバンジョーボルトをストレートユニオンに通し、取り付けます。
 ハンドルを左右一杯に切った際、干渉が無いか確認して下さい。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 バンジョーボルトM10(ショート)
 トルク：14 N・m (1.4 kgf・m)
 バンジョーボルトM12
 トルク：22.5 N・m (2.3 kgf・m)



9. 取り外したシュラウド、シートを組み付けます。

オイルクーラー取り付けが完了すれば、エンジンオイルを40cc注入します。
 エンジンを始動し、オイル漏れの有無を確認して下さい。
 エンジン停止後オイルフィルキャップを取り外し、エンジンオイル量がディップスティックの規定内にある事を確認して下さい。
 規定より少ない場合は規定内になる様、補充して下さい。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721 25 1357
 FAX 0721-24-5059
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
 URL <http://www.takegawa.co.jp>